

ふるさと 通信員だより

vol.195

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話題を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



たかだ てるこ
高田徹子 通信員

半世紀の節目祝う

木野長寿会(石割義孝会長、会員45人)の発足50周年記念式典が、北部児童館で執り行われ、51人が参列しました。

昭和45年7月、故小枝喜作さんを初代会長に会員34人で発足。実行委員長の西川富士男さん(80)は「式典を挙げてきましたことにお礼申し上げます」とあいさつ。石割会長が「50年の歴史と先人の苦勞をしのび、さらに努力したい」と式辞を述べました。

功勞者4人の表彰に加え、西川実行委員長が中心となり半世紀を綴った記念誌(A4版70頁)も発行され、参列者は50年の歴史の重みを実感していました。



いしだ ひさよ
石田尚世 通信員

ハッピーハロウィン

新通1丁目の鎌田美智子さん(64)は思いがけない出来事に喜んでいきます。家族で毎年家庭菜園を作っていますが、今年は初めてご主人と娘さんがハロウィン用力ポチャの苗を購入し、畑に植えたそうです。2本しか植えなかつた苗の1つがこんなに大きくなって家族で驚いたそうです。

せっかくなので、美智子さんはカボチャに顔を描きました。裏側には面白い落書きがたくさん描かれていました。娘さんは「ママの手にかかるとこうなる」と、美智子さんの愛嬌のある行動を笑顔で話してくれました。何が描かれているのか：ここでは触れないことにしますね。

皆さんも小さな秋を見つけて楽しんでください。